

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業計画期間	平成29年度～平成33年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	（くじ・へいがわ） 久慈・閉伊川森林計画区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 三陸北部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、岩手県の北東部に位置する久慈・閉伊川森林計画区内の、宮古市をはじめとする2市3町3村にまたがる国有林野67千haを対象としている。</p> <p>本計画区は、西部には、北上山地の最高峰である早池峰山(1,917m)をはじめ、御大堂山(1,196m)、三巢子岳(1,181m)、安家森(1,239m)、平庭岳(1,060m)などの山岳が連なっている。</p> <p>東部の太平洋岸は、宮古市を境として南側は沈水海岸となっており、リアス式海岸を形成するのに対し、北側は隆起海岸となっており海岸段丘が発達している。</p> <p>主な河川は、西部の山岳地帯を源流とし、東に流れて太平洋に注ぐ久慈川、安家川、普代川、小本川、田老川、閉伊川、津軽石川等がある。</p> <p>林況は、林地面積の56%がブナ、ナラ類、アカマツ等の天然林、44%がカラマツ、アカマツ、スギ等の人工林である。</p> <p>本計画区は、原生的な天然林等の優れた自然環境を維持・保全するため、「早池峰山周辺森林生態系保護地域」が設定されている。また、「三陸復興国立公園」、「早池峰国定公園」、「久慈平庭県立自然公園」及び「外山早坂高原県立自然公園」等に指定されている。これらの地域は、優れた景観を有し、登山、渓谷の散策、キャンプ場等の森林レクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>本計画区の国有林野面積の81%が保安林に指定されており、水源の涵養や土砂流出防備などに重要な役割を果たしている。また、沿岸部の一部は魚つき保安林に指定されており、水産資源の保全に重要な役割を果たしている。</p> <p>林業・木材産業については、豊かな森林資源を利用して、集成材工場、合板工場等の木材加工業が発達しているほか、きのこや木炭等の特用林産物の生産が盛んであり、地域の重要な産業となっている。</p> <p>このため、本事業においては、民国連携した効率的な路網整備や間伐等の森林整備に取り組むなど、地域の林業・木材産業への貢献に資すること、また、地球温暖化防止にも積極的に寄与し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とし、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備の推進に必要な路網整備を実施する。</p>																		
	<table> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>547 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>10,292 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>19.3 ha</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>3,739,152 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	547 ha			保育面積	10,292 ha		路網整備	開設延長	19.3 ha	総事業費			3,739,152 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	547 ha																
		保育面積	10,292 ha																
	路網整備	開設延長	19.3 ha																
総事業費			3,739,152 千円																
費用対効果分析	総 便 益 (B)	32,096,999 千円																	
	総 費 用 (C)	4,704,394 千円																	
	分析結果 (B/C)	6.82																	
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	人工林の齢級構成がX齢級をピークとした一山型であり、X齢級以上が約5割と主伐期に達している林分が増加しており、森林整備を行うことで、公益的機能の発揮と木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されることから、事業の必要性が認められる。																		
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性：地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・ 効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 事業実施地区名: 久慈・閉伊川森林計画区(くじ・へいがわ)
 (都道府県名: 岩手県)

事業実施主体: 東北森林管理局
 三陸北部森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	8,534,389	
	流域貯水便益	2,197,211	
	水質浄化便益	4,716,942	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,528,111	
環境保全便益	炭素固定便益	2,294,137	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	32,615	
	木材利用増進便益	60,673	
	木材生産確保・増進便益	2,266,716	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,466,205	
総 便 益 (B)		32,096,999	
総 費 用 (C)		4,704,394	
費用便益比	$B \div C = \frac{32,096,999}{4,704,394} = 6.82$		

